

## No2446 愛 宕 山

2015年 1月18日(日) 晴れ時々曇り

参加者：佐々木(L/記)、上ノ原

前日の雨を少し気にして、阪急嵐山駅前から満員のバスに乗る。今日は天候に恵まれ、雪中ハイキングを楽しみに来たハイカーでいっぱいである。遠目にも山は白く雪を被って、京都の風情を醸し出している。



清滝(9:10)からはコース別れして入山するが、我々の梨木谷道へは数えるほどのパーティーである。梨木大神までの1時間半は沢沿いに車道を辿るが、途中から道は荒れる。樹氷が太陽光に暖められて、雪の固まりとキラキラ膜のような空気が降り注いでくる。

梨木大神からは、林道と登山道になるが積雪が目立ってくる。粘土質の道に滑りながらサカサマ峠(首無し地藏)着(11:35)。



踏跡は竜が岳方面へ多く入っているようだが、我々は愛宕神社方面へ。積雪30~40cm、晴天に眺めを楽しみながらツボ足で進み地藏峠へ。登りの汗が冷えて寒い。

愛宕神社へは裏道から入り(12:50)参拝を済ませ、社務所前の温かい休憩所で昼食するが、神社周辺は昼前とあって大勢のハイカーやパーティーが集っている。

下山コースは二人の自由であるが、軽アイゼンを着け保津峡側へ直滑降する予定で歩き始めるが、途中で気が変わり旧ケーブル跡道を下る事にする。水尾の分かれ手前から左手に入り、立派な旧駅で清滝から登ってきたパーティーに状況を聞き、いくつものトンネルがある廃道を下る事にする。

戦時中に鉄の供出で廃線になったというケーブル道は、表参道と並行しているが数本のトンネルのうち2本は通行不可でキツイ巻道を歩かねばならない。光の届かないトンネルは手探り・足探りである。

二人して疲れた足を引きずりながら清滝バス停へ戻り(15:45)、ここでも大勢の皆さんと共にバスに乗り込み(16:00)無事帰阪する。

いつもながら元気な上ノ原さんと共に、冬の京都の山を楽しむ事ができました。またご一緒しましょう、ありがとうございました。